

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ユータカラヤ小田原高田店	階数	地上2F
建設地	小田原市高田字柳町298-1の一部、他	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	4,200 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,320 時間/年
建物用途	物販店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年10月 予定	評価の実施日	2011年4月1日
敷地面積	12,171 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社アール
建築面積	8,021 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	9,762 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% 60% 80% 100% 100%超

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
ガスを使用せずオール電化とし、省エネにつとめる。	資材の梱包等、極力簡易化し、廃棄物の削減につとめる。	
<b>Q1 室内環境</b> 換気設備に外調機能を追加し空調効率を高める。	<b>Q2 サービス性能</b> 店舗の天井高さを高くし、開放感を与える。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地帯を設けてCO <sub>2</sub> 削減につとめる。
<b>LR1 エネルギー</b> 消費エネルギーの詳細を把握し、省エネが可能な部分の検索につとめる。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 使用可能な部分の砕石は再生砕石を使用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 交通負荷への配慮をし、大規模小売店立地法での規制より多くの駐車場、駐輪場を確保する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される